



市政 PICK-UP

いつまでも記憶に残る一日に

5月1日、市役所1階正面ロビーに、平成から令和への改元に伴う婚姻届特設窓口が開設されました。

この特設窓口は、通常、休日や夜間に市役所本庁や総合支所の守衛室で行う婚姻届の受け付けを、改元初日の5月1日に限り特別に市役所ロビーで行うために設置されたものです。

当日は、新たな時代の幕開けと大層が重なったこともあり、朝早くから多くのカップルが市役所を訪れました。

婚姻届特設窓口開設

市は、いつまでも当日のことを記憶に残してもらえよう、メッセージカードの配布や撮影用パネルを用意し、訪れたカップルは「笑顔あふれる家庭を築きたい」と新時代に向けた抱負を語りました。

市では、今後もより一層の住民サービス向上を図り、まちの魅力を発信していきながら「訪れたい、暮らしたい、暮らし続けたい」と選ばれるまちを目指します。

市民課 ☎ 295040



▲特設窓口に飾られた令和カラー(梅・すみれ・桜)の花と記念写真コーナー

安全でクリーンな環境を

4月19日、日の出町に新たに完成した、ごみ焼却施設「サンライズクリーンセンター」の竣工式が行われました。

式典に参加した関係者らを前に福田良彦市長は「長期にわたり安定稼働ができ、大規模災害にも備えたこの施設は、発生した熱や電力を有効活用することで、地球温暖化対策に寄与できるものと期待している」と式辞を述べました。

これまで使用していた岩国市第一工場と周陽環境整備センタ



▲竣工式で関係者への感謝の言葉と、循環型社会形成の必要性を述べる福田市長

サンライズクリーンセンター竣工

1の稼働は20年以上が経過し、老朽化により処理能力が低下したため、平成21年度からサンライズクリーンセンターの整備事業計画を開始しました。

1日に最大160トンのごみを処理することができ、最新の技術と設備で臭気や有害物質を取り除き、地球環境に配慮した同施設は、1月からの試験運転を経て、4月1日から本格的な運用を開始しています。

☎ 5014
 焼却施設建設事務所



▲焼却の際に発生する熱で発電した電力は、隣接する余熱利用施設や電力会社へ送られる

悲惨な事故をなくすために

5月10日、春の全国交通安全運動（5月11日～20日）の期間に合わせて市民文化会館で交通安全市民大会が開催され、関係団体をはじめ約300人が参加しました。

交通安全岩国市対策協議会の副会長を務める杉岡匡副市長は「子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止」など6つの重点目標を掲げ「悲惨な交通事故をなくすためには、市民一人一人が交通ルールの順守と正しい交通マナーの



▲えきまえ保育園園児が「交通安全びっぴー体操」を披露した後、元気な声で交通安全宣言を宣誓した

交通安全市民大会&パレード

実践を習慣付けることが大切でです」とあいさつしました。

続いて無事故無違反コンテストの表彰が行われた他、えきまえ保育園園児たちが「とびだしはしません。どうろではあそびません。やくそくします」と元気な声で宣誓しました。

大会後はパレードが行われ、参加者はプラカードを掲げて周囲の人に交通安全をアピールしました。

☎ 5018
 安心安全課



▲プラカードを掲げパレードで交通安全を呼び掛けた